



わたしの歩んだ道

あゆみち
たくみ けいさん
内匠 慧さん

〈プロフィール〉

高校1年生で全国学生コンクール高校生の部で1位となり、その後、国内外のコンクールで入賞。現在、英国王立音楽院に在学しながら、名古屋、東京、パリなどでコンサートを開催。春日井広報大使。

姉と共に始めたピアノ

ピアノを始めたのは3歳のとき。姉と一緒に市内の音楽教室で習い始めました。両親は特に音楽に関わってきただけではなく、普通の習い事の一つとして習わせてくれました。

きっかけは講師の言葉から

小学生のころは美しく弾くことあまり興味がありませんでしたが、小学5年生のとき、新しくレッスンしてくれることになった先生の前で、表現を無視して通常の2倍の速さで演奏しま

した。そのとき、先生に恐ろしく冗談半分「君なら世界大会で優勝できる」と言われた私は、それを真に受け、自分に才能があると思ひ込み、努力をするようになりました。

中学3年生での決意

それから、図鑑や本を読みながら弾くなど不真面目に練習していたのを改め、中学3年生のときには多くの曲を弾けるようになりました。このころ、ピアニストになろうと決め、毎週末、東京にレッスンを受けに行くようになりました。

少ない時間を有効に

自宅に防音設備はなかったため、午後9時までしか練習できませんでしたが、それが短時間で集中して取り組むことを促したように思います。今でも弾く練習は本番前に集中して行い、散歩など、直接ピアノに関係のないこと

に時間を使うようにしています。

両親を納得させ、海外へ

高校3年生の冬に、イギリスへ行くことを決意しました。高校時代に有名な音楽家から「才能がない」と言われたこともあり、当初両親は留学に反対していました。しかし、最後には頑張りを入れてもらい、イギリスの英国王立音楽院に入学しました。

まだ知られていない名曲を届けたい

ほとんどのクラシックの名曲は始めから有名だったわけではなく、バッハやベートーベンですら、死後、優れた演奏者により知られることになりました。コンサートでは、今まだ知られていない素晴らしい曲を演奏して、将来に残すべき作品、皆が楽しめる作品がきちんと評価される手伝いができればと思っています。

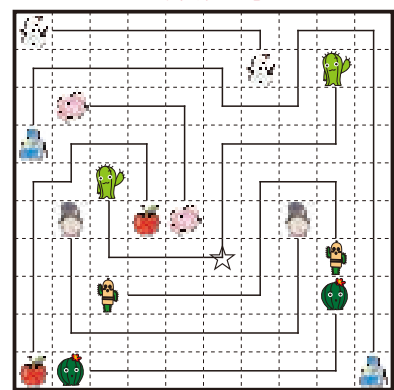


夢をかなえるために

夢をかなえるためには、まず夢を持たなくてははいけません。しかしそれはなかなか難しいことです。私も子供のころ、特に夢はなく、将来の夢を聞かれたら空欄にするか、とりあえず「お父さん」と答えていました。でも大丈夫。頑張っって自分の長所を伸ばしていけば、少しずつ夢が持てるようになると思います。



7ページ「絵結び」の答え



7番の「白丸」でした